

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	マンナ運輸株式会社 京都第2セン	階数	地上4F
建設地	京都府久世郡久御山町市田新珠城	構造	S造
用途地域	工業専用地域、法22条区域	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,920時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年5月 予定	評価の実施日	2017年3月16日
敷地面積	8,886 m ²	作成者	橋本
建築面積	899 m ²	確認日	2017年3月16日
延床面積	3,226 m ²	確認者	橋本

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保証を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 1.3 ★★★★★☆</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ C: ★★★★★</p>	<p>★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 50% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100% ②建築物の取組み 87% ③上記+②以外の 79% ④上記+ 79%</p> <p>46 (kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Qのスコア = 2.9**

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.0)	Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.1)	Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.8)
音環境: 3.0, 温熱環境: 3.0, 光・視環境: 3.0, 空気環境: 3.0	機能性: 2.9, 耐用性: 3.0, 対応性: 3.1	生物環境: 3.0, まちなみ: 3.0, 地域性: 2.5

LR 環境負荷低減性 **LRのスコア = 3.5**

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.2)	LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 2.9)	LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.2)
建物外皮の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 5.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.0, 非再生材料の: 2.0, 汚染物質: 3.0	地球温暖化: 3.0, 地域環境: 3.0, 周辺環境: 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 既設建物と同じ建物幅とし、周囲への影響が極力少なくなるように配慮した。		
Q1 室内環境 快適に過ごすことができるように空調計画を配慮	Q2 サービス性能 設備システムの更新を容易に行えるよう配慮	Q3 室外環境 (敷地内) ・空地率が大きくなるように、建物規模を配慮した
LR1 エネルギー ・設備システムの効率化へ配慮した	LR2 資源・マテリアル ・主要構造躯体強度に関して配慮	LR3 敷地外環境 ・敷地境界線より建物を離すことにより、修正への圧迫感が生じないように配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃業に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される